

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 ハビステ坂之上		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 18日		2026年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 15名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 8日		2025年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用開始時にお子様の発達段階を正確に把握することが重要であると考えている為、専門機関(病院等)で使用されている評価方法(身体機能テスト・知的機能テスト等)を実施し、妥当性・整合性のあるプログラム提供に努めております。	複数の分野での評価を実施し、数値等を基にご家族様にお子様の苦手なところ、得意なところのご説明を行っております。	事業所で実施したお子様に関する評価をご家族様の了承を得て、関係機関へ共有を行ったり、就学相談を受けるお子様には就学相談時にもご家族様と出席させていただき、児童にとって有効な支援についてお話をさせていただいております。
2	専門職が多数在籍しているため、様々な角度から意見交換をしたうえで、支援プログラムを作成しております。 SNSなどのツールを活用し、事業所の見学や面談など、ご家族様が相談しやすい環境を作り、情報共有を積極的に行える体制づくりを整えております。	専門職による個別の支援も実施し、集団での活動も専門職の意見を取り入れながら実施しております。	専門職が中心となった研修等を実施し、様々な要素を取り入れた活動を実施できるようにしております。 季節に応じたイベントを活動に取り入れ、季節や行事ごとを体験できるよう工夫を行っております。
3	お子様の苦手なところをスモールステップで取り組み、楽しみながら活動を行えるよう、活動内容を工夫しております。	評価に基づきながら、お子様の困り感に沿った活動を提供できるよう、同じ活動でも目的を変えたり、楽しみながら活動に取り組んでもらえるよう工夫しております。	当事業所でお子様に取り組むことができた内容等をご家族様にメールや面談時にて報告させていただいております。また、ご家庭でも取り組める活動をSNSなどで情報共有しております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間で交流する場(父母会等)の実績がありません。	地域交流会就学相談会など新しい取り組みを行ってはきましたが、保護者同士が交流する場の機会まで設けることができておりませんでした。	ご家族様向けに交流する機会についてのご意見等を聴取しながら、検討していく。
2	各種マニュアルなどの作成はしていたが、ご家族様への周知や提示が不十分であった。	マニュアルは多数存在するため、十分にご家族様への周知や説明の場を設ける時間が確立できていなかった。	ホームページ等を活用しながら、幅広くご家族様への周知ができるよう工夫していく。
3	ペアレントトレーニングとしての家族支援プログラムの研修会等が行っていません。	個別での面談時にご家庭でも取り組める内容や声掛け等のアドバイスは行っておりましたが、研修会の実施など、大きなイベントとしては実施できていない状態です。	SNSなどを活用して、ご家庭でも取り組める内容等は今後も伝達して参ります。ご家族様からのご要望に合わせて研修会や支援の見学等を通して、ペアレントトレーニングといった研修会の場を設けることができると考えております。